

亡くなった子にも人間と同じような年忌供養と共に、
春と秋の彼岸、お盆など季節ごとのご供養を。

ご供養の本質は亡くなった子を思い出し、語らい偲ぶことにあります。

三途の川のほとりに到着する日とされています。

初七日 激流・急流・暖流のいずれかを渡るかお裁きが決まる大切な日です。
その後、七日ごとにお裁きを受けて行きます。

四十九日 七回目のお裁き、四十九日を迎えます。
来世の行先が決まるもっとも重要な日です。

百廿日 嗟された者たちが悲しみに区切りをつけ
新たな日常を取り戻す日です。

一周忌 丸1年の節目の供養です。
一年の喪が明け、亡くなった子を偲ぶ段階へと移ります。

三回忌 追善供養とも呼ばれています。
追善供養とは生きている人が無き子の代わりに善い行いをする事で
無き子の^{くどく}功德を追加するものとされています。

七回忌 現代に暮らす私たちは、なかなか毎年の命日に集まるのは大変です。
動物供養では、ゆかりの方々が集まる最後の供養として行われます。
七回忌をひとつの区切りに^{ごうし}合祀される方が多くいらっしゃいます。

お彼岸 春と秋との2回あり、自然を^{いつく}愛しみ、ご先祖を^{うやま}敬う仏教行事です。
亡くなった子に大好きだった食べ物をお供えしましょう。
春彼岸=春分の日の前復3日間 / 秋彼岸=秋分の日の前復3日間

お盆 夏期に行われる祖先の霊をお迎えし^{まつ}祀る行事です。
お仏壇を賑やかに飾って迎え火を焚き、お迎えする準備をします。

よこはま動物葬儀センター

(ご参列頂き読経を行います)

妙蓮寺(ペット供養部)では、特別な日に行う「特別供養」を受け付けています。

特別供養=6500円 ^{とうぼ}お塔婆供養=4000円

お申し込みは 045 (391) 6081

(お塔婆が含まれています)

ワンポイント

お線香

その香りを仏様やご先祖様に楽しんで頂くこと。
仏様の食べ物はお香であるとも言われています。

おりん

おりんの澄んだ音が、トクノ邪気を払い、
供養や祈りの心を、おりんの音に乗せて、
仏様へのもとへ届けるとも言われています。

お塔婆

仏様を雨、風からお守りするという意味があり
塔婆を立てるということは『善を積む』こと
であるとされ、自分自身の^{くどく}功德を積む行いとして
奨励されています。